

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯-17 永福寺跡環境整備事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1241	永福寺跡環境整備事業	
主管課	文化財課		関連課	世界遺産登録推進担当			
分野名	歴史環境						
目標 (目標値)	国指定史跡永福寺跡を保存・整備し、幅広く公開・活用を図る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考			
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状 況	決算値	16,235千円	123,247千円	国・県補助金 《210》5,356 《219》1,785			
	(国・県)	7,141千円	82,150千円				
	(負担金等)	0千円	36,600千円				
	(一般財源)	9,094千円	4,497千円				
	人員配置数	1.5人	1.5人				
	人 件 費	14,438千円	14,246千円				
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	30,673千円	137,493千円				
	市民1人当 りの経費	174円	779円				
	対象者1人 当りの経費						
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 史跡永福寺跡は、世界遺産の候補遺産となる予定の史跡であることから、平成25年度までに目で見える形の史跡(歴史)公園として公開・活用できるよう着実な事業の推進を図っていかねばならない。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 国庫補助事業として位置付け、早期に整備が図れるよう補助金の確保等について国・県と調整を図った。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 学識経験者及び地元代表からなる史跡永福寺跡整備委員会から、具体的な整備手法等について指導・助言があったため、その指導・助言に基づき整備を行う必要がある。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 史跡永福寺跡整備委員会の指導・助言のもとに、引き続き国・県及び関係部局、地元住民との調整を行い、着実な事業の推進を行う。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	史跡永福寺跡の整備を着実に実施し、歴史教育の場として公開・活用していく必要がある。		評価結果	改善の必要性	史跡永福寺跡は世界遺産の候補遺産であり、歴史遺産として保護・保存し、歴史教育の場として公開・活用するために整備を推進していく必要がある。	
A	有			A	有		
課長名		永 井 正 憲		部名・部長名		植 松 芳 子	